

2025 年度岡山県支部 年次大会・講演会報告

西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社 川上 隆三
技術士（建設部門、総合技術監理部門）



1. 開催概要

2025 年度岡山県支部年次大会・講演会が、令和 7 年 7 月 26 日（土）岡山国際交流センターにおいて開催されました。本会は、2 部構成で、第一部は、2025 年度年次大会として、2024 年度事業報告並びに 2025 年度事業計画等につき、第二部では、基調講演会としてバイオディーゼル岡山株式会社取締役工場長 ^{きんと} 三戸 篤史様より、「食品ロスを再エネに！」と題してご講演をいただきました。

2. 第一部 2025 年度 年次大会

- 1) 開会挨拶 川井支部長
- 2) 2025 年度岡山県支部 役員紹介
- 3) 2024 年度岡山県支部 事業報告および収支決算
- 4) 2025 年度岡山県支部 事業計画および収支予算
- 5) 2025 年度岡山県支部の組織および規約説明

はじめに、岡山県支部川井支部長より、挨拶をいただきました。岡山県支部年次大会に参加された皆様への謝辞に続いて、岡山県支部の活動により、学位取得後期課程において、ジョブ型研究インターンシップの 2 年間で技術士二次試験業務経歴として認められるようになり、技術士合格年齢の引き下げに寄与する快挙につながった旨のお話がありました。



開会挨拶の後、2025年度岡山県支部役員紹介、2024年度岡山県支部事業報告および収支決算、2025年度岡山県支部事業計画および収支予算、また、2025年度岡山県支部の組織および規約説明では、支部役員について従来の20名体制から22名体制に強化された旨の報告がありました。各議題の報告・説明の後、一括して質疑応答が行われ、満場の拍手をもって、原案どおり承認されました。

3. 第二部 基調講演会

演題：「食品ロスを再エネに！」

講師：三戸 篤史氏（バイオディーゼル岡山株式会社 取締役工場長）

基調講演では、最初にバイオディーゼル岡山株式会社は、DOWAホールディングス株式会社のグループ会社で、岡山とはとても縁が深い会社である旨のお話がありました。その後、演題である「食品ロスを再エネに！」として、主に「バイオディーゼル燃料」と「食品リサイクル」の取組についてご講演をいただきました。

「バイオディーゼル燃料」については、使用済食用油等をディーゼル燃料としてリサイクルするもので、当初市内のごみ収集車や路線バスに使用されていたが、排ガス規制等により使用が激減した。その後ボイラーに用途拡大したところ、飛躍的に需要が伸び、現在では供給が追いつかない状況であるとの説明がありました。

「食品リサイクル」については、食品ごみ（フードロス等）をメタン化し、発電により電気に変換するもので、中でもフードロスの現状と原因等については、映像を交えて解説があり、会場からため息が漏れるほどショッキングな内容でした。

地球温暖化対策の重要性が叫ばれる中、カーボンニュートラルの取組について、時宜を得た大変意義深い講演でした。



4. おわりに

分部副支部長の閉会挨拶の後、市内で、交流会が開催されました。「食品ロス」を出さないよう完食しました。